

声明文
沖縄科学技術大学院大学学園設立委員
平成 23 年 6 月 16 日

第 3 研究棟の整備は沖縄科学技術大学院大学の発展に不可欠

- 沖縄科学技術大学院大学の当初の基本的な計画では、平成 24 年の開学時までには、代表研究者 50 人程度を収容できる三つの研究棟が整備する必要があるとされていた。
- 第 3 研究棟の整備は、平成 22 年度に一部予算措置されたが、その後、この研究棟に入居する代表研究者を採用し得ることが示されるまでの間、先送りされることとなった。
- この 1 年間に 19 人の優れた代表研究者が採用され、最高水準の教員が必要な数だけ獲得できることが十分に示された。第 3 研究棟は既に建設計画が準備されており、大学院大学が第一級の学際的な教授陣を構成するためには、来年度にはその建設に直ちに着手する必要がある。

声明文：

沖縄科学技術大学院大学学園設立委員は、沖縄科学技術大学院大学の整備が計画どおり完了するよう、第 3 研究棟の整備費が平成 24 年度予算に盛り込まれることを強く要請する。構想されたとおりの国際的なプログラムの立ち上げに向け弾みがついてきたところであり、沖縄に世界水準の科学技術大学を創設するという目標を達成するには、この勢いを維持することが極めて重要である。